

## ○妊婦健康診査（妊婦健康診査事業）

### 1 進捗状況（計画数値と実績値の比較）

		平成28年度				
		計画数値	実績値	差	計画実施にかかる財源の確保状況	
					予算額	決算見込額
利用人数	①需要量	5,113 人	5,329 人	216 人	400,564,000 円	380,378,000 円
	②確保量	5,113 人	5,329 人	216 人		
	②-①	0 人	0 人			

### 2 計画数値と実績値に差が生じた理由

#### ① 量の見込みと実績値

妊娠の届出数の増加に伴い、妊婦健康診査受診者も増加したため。

#### ② 確保量と実績値

妊娠の届出数の増加に伴い、妊婦健康診査受診者も増加したため。

### 3 今後の対応

平成28年度から、妊婦子宮頸がん検診とHIV抗体検査が区の独自事業から東京都内区市町村の妊婦健康診査の項目に追加されたことに伴い、受診先が拡大した。妊婦健康診査の受診件数も計画数値に比べ増加となっている。杉並区の将来人口推計によると0歳児の人口は今後減少傾向になっているが、平成26年11月に作成されたものであり新しい推計値はまだない。また、28年度に保育施設の拡充を図った影響により、今後も対象人口の増加が見込まれる。

今後も妊娠早期からの支援につなげるためにも、妊婦健康診査の受診率の向上に努める。

## 〇すこやか赤ちゃん訪問(乳児家庭全戸訪問事業)

### 1 進捗状況(計画数値と実績値の比較)

		平成28年度				
		計画数値	実績値	差	計画実施にかかる財源の確保状況	
					予算額	決算見込額
利用人数	①需要量	4,286 人	4,474 人	188 人	26,461,000 円	26,255,000 円
	②確保量	4,286 人	4,474 人	188 人		
	②-①	0 人	0 人			

### 2 計画数値と実績値に差が生じた理由

#### ① 量の見込みと実績値

出生数の増加に伴い、赤ちゃん訪問数も増加したため。

#### ② 確保量と実績値

出生数の増加に伴い、赤ちゃん訪問数も増加したため。

### 3 今後の対応

すこやか赤ちゃん訪問数は、計画数値に比べ実績値は増加となっている。杉並区の将来人口推計によると0歳児の人口では今後減少傾向となっているが、平成26年度11月に作成されたものであり、新しい推計値はまだない。また、28年度に保育施設の拡充を図った影響により、今後も対象人口の増加が見込まれる。

引き続き主任児童委員等との連携を図りながら、保健センターの保健師等専門職による訪問を着実に実施し、出産後の母子の健康状態や生活状況を把握するとともに、産後うつ等の早期発見・対応や育児不安の解消・軽減を図っていく。

○利用者支援（利用者支援事業）

1 進捗状況（計画数値と実績値の比較）

		平成28年度				
		計画数値	実績値	差	計画実施にかかる財源の確保状況	
					予算額	決算見込額
施設数	①需要量	6 か所	6 か所	0 か所	37,840,000 円	33,682,000 円
	②確保量	6 か所	6 か所	0 か所		
	②-①	0 か所	0 か所			

2 計画数値と実績値に差が生じた理由

① 量の見込みと実績値

② 確保量と実績値

3 今後の対応

現在1か所の子ども・子育てプラザを合計3か所、平成30年度までに着実に整備していく。また今後も引き続き、母子手帳交付時に子育て応援券（ゆりかご券）などの配布を行い、同時に相談に応じるなど産まれる前の利用者支援も5つの保健センターで行う。

○乳幼児親子のつどいの場（地域子育て支援事業）

1 進捗状況（計画数値と実績値の比較）

		平成28年度				
		計画数値	実績値	差	計画実施にかかる財源の確保状況	
					予算額	決算見込額
利用人数	①需要量	427,572 人	451,312 人	23,740 人	33,821,000 円	33,498,000 円
	②確保量	448,070 人	451,312 人	3,242 人		
	②-①	20,498 人	0 人			
つどいの広場	①需要量	5 か所	4 か所	-1 か所		
	②確保量	5 か所	4 か所	-1 か所		
	②-①	0 か所	0 か所			
ゆうキッズ	①需要量	41 か所	40 か所	-1 か所		
	②確保量	41 か所	40 か所	-1 か所		
	②-①	0 か所	0 か所			
子育てプラザ・ザ子育て	①需要量	0 か所	1 か所	1 か所		
	②確保量	0 か所	1 か所	1 か所		
	②-①	0 か所	0 か所			

2 計画数値と実績値に差が生じた理由

① 量の見込みと実績値

児童数が増加したため。地域子育て支援拠点事業の充実を図るため、子ども・子育てプラザ和泉が開設したため。

② 確保量と実績値

児童数の増加や新規事業により、利用者数は増加したが、ニーズには対応できた。地域子育て支援拠点事業の充実を図るため、子ども・子育てプラザ和泉が開設したため。

3 今後の対応

施設再編整備計画に基づき、子ども・子育てプラザを計画的に整備して、地域子育て支援拠点事業を実施する。

○乳幼児の一時預かり（一時預かり事業）

1 進捗状況（計画数値と実績値の比較）

		平成28年度				計画実施にかかる財源の確保状況	
		計画数値	実績値	差	計画実施にかかる財源の確保状況		
					予算額	決算見込額	
幼稚園在園児一時預かり	①需要量	96,216 人	132,444 人	36,228 人	都事業のため、区の費用負担はなし。		
	②確保量	146,000 人	132,444 人	-13,556 人			
	②-①	49,784 人	0 人				
幼稚園在園児定時預かり	①需要量	31,254 人	41,934 人	10,680 人	45,941,600 円	50,550,000 円	
	②確保量	50,820 人	41,934 人	-8,886 人			
	②-①	19,566 人	0 人				
子育てプラザ・子ども保育・子育て時	①需要量	68,191 人	41,087 人	-27,104 人	98,520,000 円	98,032,000 円	
	②確保量	66,500 人	65,190 人	-1,310 人			
	②-①	-1,691 人	24,103 人				
ファミリー・サポート・センター	①需要量	6,000 人	4,701 人	-1,299 人	10,429,000 円	9,839,000 円	
	②確保量	4,910 人	4,910 人	0 人			
	②-①	-1,090 人	209 人				

2 計画数値と実績値に差が生じた理由

① 量の見込みと実績値

- ・幼稚園の定時預かり保育の実績値の増加については、長時間預かり保育事業利用者の増加による。
- ・ひととき保育・一時保育・子ども・子育てプラザについては、主に地域における一時預かりについては、利用を希望する施設や日時が合わず、実際に利用されないケースなどがあるため。
- ・ファミリー・サポート・センターについては、利用実績による。

② 確保量と実績値

- ・幼稚園の一時預かりの確保量については、一時預かり、定時預かり（長時間）ともに実績値を上回っている。
- ・子育てサポートセンター1所が平成29年2月をもって休止となったほか、一時預かり事業のスペースを活用して定期利用保育事業を実施する施設があったため、確保量に差が生じた。

3 今後の対応

- ・幼稚園については、今後も長時間預かり保育事業実施園数の増加及び既実施園の定員増を図っていく。
- ・地域における一時預かりについては、当初の計画どおり、「すぎなみ子ども・子育てプラザ」を整備するに当たり、一時預かり事業を拡充する。
- ・ファミリーサポートセンターについては、核家族化や女性の社会進出、共働き世帯の増加などの状況がさらに進む中、保育園だけでは対応できない部分を担うサービスとして、引き続きの安定的な運営を図る。

## ○延長保育(延長保育事業)

### 1 進捗状況（計画数値と実績値の比較）

		平成28年度				
		計画数値	実績値	差	計画実施にかかる財源の確保状況	
					予算額	決算見込額
利用人数	①需要量	1,264 人	811 人	-453 人	431,907,000 円	388,013,000 円
	②確保量	1,700 人	1,690 人	-10 人		
	②-①	436 人	879 人			

### 2 計画数値と実績値に差が生じた理由

#### ① 量の見込みと実績値

年々増加する保育入所者数に対応するために延長保育利用者の大幅増を見込んだ結果として、平成27年度の計画数値は前年度の実績比で約58%の増としており、その後の年度の計画もこれを基にした数値としている。しかしながら、実績値について平成24年度から平成28年度までをみると、増加率は前年度比で最大でも9.1%であり、量の見込みほど増加していないことによる。

#### ② 確保量と実績値

確保量は、計画数値を10人下回っているものの、量の見込みの実績値の倍以上となっている。

### 3 今後の対応

平成28年度以降の待機児童解消緊急対策の取組により保育需要の増加傾向は続くものと見込むため、計画数値の維持は必要と判断する。

## ○病児保育(病児保育事業)

### 1 進捗状況(計画数値と実績値の比較)

		平成28年度				
		計画数値	実績値	差	計画実施にかかる財源の確保状況	
					予算額	決算見込額
利用人数	①需要量	4,044 人	2,723 人	-1,321 人	69,544,000 円	69,310,000 円
	②確保量	4,000 人	3,838 人	-162 人		
	②-①	-44 人	1,115 人			

### 2 計画数値と実績値に差が生じた理由

#### ① 量の見込みと実績値

以前から稼働している施設(定員10名/日)の実績は、1日平均8.2人と前年度より0.1人増加した。一方27年度3月末に新規開設した施設(定員6名/日)は、利用方法が以前から稼働している施設とは異なり、前日までに受診した医師の所見(医師連絡票)が必要なことから、利用者の定着に時間がかかり、1日平均3.1人であった。このことから当初計画より1321人のマイナスとなった。  
 この他、利用実績とは別に、既に満員で利用出来なかった人が延べ474人、キャンセル待ちの間に利用申込を取り消した人は延べ2359人存在している。

#### ② 確保量と実績値

確保量は定員数×開設日数により算出している。  
 平成28年度の実績値は、定員10名の開設日数が238日、定員6名の開設日数が243日で3838人となった。  
 確保量の計画数値は、定員数値は2施設合わせて16人/日で計画どおりだったが、開設日数を250日と設定していたことから、実際の開設日数との差が生じた。

### 3 今後の対応

平成27年度に区内2施設目の病児保育室の開設が実現したことにより、確保量についてはおおむね計画通りを見込んでいるが、開所日数については見直しを図る。今後については、利用実績の他に、満員で利用を断った方なども含めると、量の見込みは増加傾向が見込まれるため、当初計画通り平成31年度にさらに1か所施設を増設し、3か所体制を目指す。

○小学生対象のファミリー・サポート・センター(子育て援助活動支援事業)

1 進捗状況(計画数値と実績値の比較)

		平成28年度				
		計画数値	実績値	差	計画実施にかかる財源の確保状況	
					予算額	決算見込額
利用人数	①需要量	5,818 人	1,649 人	-4,169 人	3,664,000 円	3,456,000 円
	②確保量	4,700 人	3,500 人	-1,200 人		
	②-①	-1,118 人	1,851 人			

2 計画数値と実績値に差が生じた理由

① 量の見込みと実績値

利用実績による。

② 確保量と実績値

援助会員の減少による。

3 今後の対応

利用状況等の推移を踏まえ、協力会員の増員を図る。



○学童クラブ(放課後児童健全育成事業)

1 進捗状況(計画数値と実績値の比較)

		平成28年度				
		計画数値	実績値	差	計画実施にかかる財源の確保状況	
					予算額	決算見込額
①需要量	1~4年生	4,052 人	4,190 人	138 人	363,300,000 円	357,507,000 円
	5・6年生	231 人	71 人	-160 人		
	計	4,283 人	4,261 人	-22 人		
②確保量	区学童クラブ	4,382 人	4,489 人	107 人		
	民間学童クラブ	85 人	98 人	13 人		
	計	4,467 人	4,587 人	120 人		
②-①		184 人	326 人			

2 計画数値と実績値に差が生じた理由

① 量の見込みと実績値

5・6年生の需要が下がっている傾向が見られるものの、計画数値と大きく乖離しない実績値となった。

② 確保量と実績値

局所的な学童クラブ需要に応じて確保量を整備したため。

3 今後の対応

今後も計画的に学童クラブ需要に対応した育成スペースの確保と事業の充実を図る。

○子どもショートステイ(子育て短期支援事業)

1 進捗状況（計画数値と実績値の比較）

		平成28年度				
		計画数値	実績値	差	計画実施にかかる財源の確保状況	
					予算額	決算見込額
利用人数	①需要量	3,171 人	886 人	-2,285 人	14,530,000 円	13,569,000 円
	②確保量	2,920 人	2,920 人	0 人		
	②-①	-251 人	2,034 人			

2 計画数値と実績値に差が生じた理由

① 量の見込みと実績値

実績値よりも高い量の見込みとなっており、今後の利用実績の推移を見守っていく。

② 確保量と実績値

3 今後の対応

今後の利用実績推移を見守っていく。

○要保護児童等の支援のための事業(養育訪問支援事業等)

1 進捗状況(計画数値と実績値の比較)

		平成28年度				
		計画数値	実績値	差	計画実施にかかる財源の確保状況	
					予算額	決算見込額
訪問 人数	①需要量	4,944 人	8,177 人	3,233 人	13,499,000 円	5,867,000 円
	②確保量	4,944 人	8,177 人	3,233 人		
	②-①	0 人	0 人			

2 計画数値と実績値に差が生じた理由

① 量の見込みと実績値

支援対象者の増加したため。

② 確保量と実績値

支援対象者の増加により、訪問者(支援者)数が増加したため。

3 今後の対応

支援対象者の増と家庭状況の多様化をふまえて、より適切な事業展開の運用方法の見直しを行う。